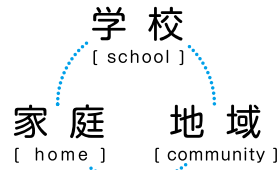


学校が変わる。  
教育が変わる。

「くりっぶ」とは、「学校、家庭、地域をつなぐ」をテーマに、広島県教育委員会や学校での取組を、保護者の皆さんにお知らせするための広報紙です。



平成30年7月10日発行  
広島県教育委員会

読者プレゼント  
3千円分の「図書カードNEXT」プレゼント!  
抽選で5名様



あなたの周りの「よくばり先生」をご紹介ください。

授業はもちろん、研究やスポーツ、趣味や育児などで、欲張りライフを送っている、名物先生を紙面でアピールしませんか。

■応募要領 / はがきに住所・氏名・年齢(○歳代)と、①「くりっぶ」のご感想、②あなたの周りのよくばり先生と推薦する理由、を明記の上、郵送ください。 ■応募締切 / 7月31日(火)消印有効 ■応募先 / 〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会事務局「くりっぶ」係(当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。)

好評配信中。広島県公式LINE@

県公式LINE@では、県内のイベント・観光・防災情報に加えて、「くりっぶ」発行日のお知らせなど、たくさんのお役立ち情報を配信しています。今すぐ友だち登録してね!

LINE@ID @hiroshima\_pref

**スペシャルインタビュー**  
新教育長が子供たちへの思いを語ります。

**私の前進宣言!** … P2

**新教育長就任 平川理恵**

**特集**  
カウントダウンHiGA  
広島叡智学園  
いよいよ開校 … P3

将来に直結する学科・コースが誕生!!  
**県立高校改編**  
事例紹介: 庄原格致高校、吉田高校 … P5

**TOPICS**  
○平成30年度全国中学校体育大会のご案内  
○特別支援学校の取組  
○ひろしま給食100万食プロジェクト … P5~6

**連載コラム**  
「くりっぶ情報局」が行く  
**おしえて!よくばり先生**  
名物先生に聞きました!! … P6

★★★★読者プレゼント付★★★★

## 思いは1mmでも進めたい! みんなの力で広島県の教育を「前へ」!

### 広島に学びの変革を!

全ての学校で「主体的な学び」を実現します。

パソコンやスマートフォンで検索したらすぐに答えを探せる時代になっている中、子供たちには人間にしかできないような、自ら課題を発見したり、異なる価値観の人々と協働して問題を解決したりするなどのクリエイティブな能力を身に付けていくことが必要になっています。そのため、子供たちの「主体的な学び」を促す教育活動が、全ての学校で実践されるよう進めています。特に、広島叡智学園中学校・高等学校は、その学びの変革の牽引役として必ず成功させます。

### 個々の子供たちに合った学びを

公立学校にはセーフティーネットの役割もあると思っています。

公立学校では個々の子供たちに対応することは難しいと言われてきましたが、経験的に、工夫によってはある程度可能だと感じています。その子に合った学び方、学ぶペース、学ぶ内容を学校内で柔軟に対応できれば、きっと子供は学校に来ます。校長をしていた8年間、不登校や貧困など様々な課題を抱えている家庭の保護者や生徒と膝を突き合わせてきて、その苦しさや大変さを目の当たりにしてきたので、この部分は本当に何とかしたい。1mmでも動けばいいと思っています。

### 基本はやはり現場主義

子供と担任の間に真実があり、そこに宇宙があると思っています。

私は現場主義の人間なので、学校に行っって普通の授業を見る、この中で子供や先生の様子を観察して教育行政に反映させることが大切だと考えています。県教育委員会事務局の職員にも積極的に学校に行くように伝えていきます。



### 「自分ごと」で考えてみる

子供たちが「今日も学校楽しかった」と思えるように。

「いじめはダメ!」と言うだけではなく、先生たちがアンテナを高くしてキャッチできる状況と、何か起きたときにすぐに動ける校内の危機管理体制を整えることが大切です。先生たちには、もし自分の子供だったら、兄弟姉妹だったら、自分だったら、こんなことをされたら嫌だろうなとかこうしてほしいなということを考えてほしい。そして、子供たちが今日も学校楽しかった、行って良かったと思ってくれることで、その子の人生が豊かになってくるのではないかと思います。

### 民間出身であることの強み

強みは開拓、パイオニア精神。

これまで、あまり前例にとらわれず、各分野を開拓するというか、パイオニア的にやってきました。今後、広島県の教育をどのように開拓していくかは、地域の特性に合わせていきますが、必ずや子供たちのために開拓していく、前進していく。そのための雰囲気づくり、やっていいんだという自由闊達な雰囲気づくりにも取り組んでいきたいと思っています。

### 教育は楽しい仕事なのです

クリエイティブに子供たちの環境を作るのは校長の仕事。

校長というのはすごく楽しい仕事。内容はクリエイティブだし、子供たちは本当にかわいいし、先生たちも熱心です。今、世間が全体的に縮こまってしまっって、失敗するのが怖いという雰囲気に覆われているように感じています。校長先生には、先生たちのチャレンジを支援してほしいし、緩衝材になってほしい。広島県教育委員会もそのような立場でいたいと思います。

### 平川理恵プロフィール

京都市出身。民間企業から、30歳で南カリフォルニア大学へMBA留学。後に会社を立ち上げるが、学校教育に携わりたいと考え、横浜市の中学校で民間出身初の女性校長となる。本年度、学びの変革をさらに推し進める、湯崎英彦広島県知事の熱い要請に応え、広島県教育長に就任。

連載 平川教育長の  
行く、今日、行く、長日記

「答えは現場にある!」をモットーとする平川教育長が、県内の学校を訪ね、児童生徒とふれあい感じたこと、取組などをレポートします。

4月18日、安芸太田町立加計中学校を訪問しました。

安芸太田町立加計中学校を訪問し、1年生理科の授業を見学。生徒たちはビーカーやプラスチックを使った実験を通して、「気体の発生と性質」について学んでいました。私も生徒たちと同じように実験に参加したり、隣に座って実験内容について話し合う様子を拝聴。すごく楽しそうに学んでいる姿がとても印象的でした。学びの変革にふさわしい授業をしてくださっている先生やその先生を支援してくださっている学校や町教育委員会の皆様に感謝です!

▲生徒たちと一緒に化学の実験にトライ。